

非製造業の「収益状況」DIが悪化

各項目のDIの動き (前月比) (😊 好転 🟢 不変 😞 悪化)

3月の情報連絡員報告によると、非製造業の景況DIが前月比で悪化(4.7ポイント)している。また若干だが好転していた収益状況も悪化した。製造業については景況、収益状況とも横這いだった。

「業界の声」からは改正建築基準法についての報告が多く、法改正の影響がまだ払拭されていないとともに、建設業のみならず多くの業界に影響を与えていることが浮き彫りとなった。

さらに原材料高騰による収益の圧迫も前月に続き報告がよせられた。

【製造業64人、非製造業86人、計150人の集計】

	全 体	製 造 業	非製造業
売 上 高	-38.0 😞	-32.8 😞	-41.9 😞
在 庫 数 量	-17.6 😞	-20.3 😞	-14.8 🟢
販 売 価 格	-5.4 🟢	-9.5 😊	-2.3 😞
取 引 条 件	-26.0 🟢	-29.7 😊	-26.7 😞
収 益 状 況	-57.3 😞	-45.3 🟢	-58.1 😞
資 金 繰 り	-32.0 😊	-28.1 😊	-34.9 😊
設 備 操 業 度	-32.8 😊	-32.8 😊	
雇 用 人 員	-14.0 😊	-10.9 😊	-14.0 😊
業 界 の 景 況	-58.0 😞	-61.0 🟢	-54.7 😞

✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
窯業・土木製品	コンクリート製品製造業	官公庁の予算策定の際、取引価格の最低値をベースに価格設定するケースがあり、製品価格低落の一因にもなっている。適正な価格での策定をお願いしたい。
小 売 業	豆腐小売業	原材料の確保のため、国産大豆の増産を望む。
	自転車小売業	国内には自転車のパーツメーカーはほとんどない。中国に依存しているのが現状であるが、国内メーカーの復活のための支援を望む。
運 輸 業	貨物自動車運送業	燃料に対する暫定税率を恒久的に廃止してほしい。

平成20年
3月

業 界 の 声

製 造 業

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食 料 品	麺類製造業	製品価格の値上げ効果で収益は好転したが、4月中に小麦粉価格が18%値上げされる予定であり、価格転嫁が可能かどうか懸念されている。
	漬物製造業	中国製冷凍餃子問題以降中国政府による輸出用食品の検査の厳格化が進み、原料野菜の輸入に深刻な影響をもたらすことが懸念されている。
繊維・同製品	織物業	高額商品の売上げが不振で返品と在庫が増加している。今後値引きをせざるを得ない状況にある。
	帆布製品製造業	改正建築基準法に伴う住宅着工件数減少の影響が大きい。前年同月比50%減。
	帽子製造業	暖かな気候で春物の売上げが好調。
木材・木製品	建具製造業	木造共同住宅の着工件数が減少している。その影響で建具の売上げが落ち込んだ。
印 刷	印刷物加工業	年度末の廃業が2社。年度内に数回あった資材の値上げのダメージは業界全体に拡大している。
	印刷業	製紙メーカーは5月1日に用紙価格を15%以上値上げする予定で、価格の転嫁が問題となっている。また、古紙混入問題では印刷会社がその説明に追われている。
化学・ゴム	ゴム製品製造業	石油製品の高騰に伴う原材料価格の上昇が継続しており経営を圧迫している。
	塗料製造業	売上げはほぼ横這い。大手・中堅が価格の値上げ改定。中小メーカーも追従する模様。
	プラスチック製品加工業	原材料が高騰するも、製品価格に転嫁することができず収益の悪化が続いている。
窯業・土石製品	生コンクリート製造業	改正建築基準法により住宅着工件数の大幅な減少を招き、生コンの出荷量は急減した。
	コンクリート製品製造業	年度末での工期厳守が徹底されているため製品の納入時期が早まっており生産計画に影響が出た。2月の後半からはセメントメーカーの都合で在庫切れのトラブルが発生した。
鉄鋼・金属	電線ケーブル製造業	3月期は自動車用電線の需要が増加したが、通信・電力・電気機械・建設用電線の需要が減少した。特に建設用電線の落ち込みが大きい。
	ねじ類製造業	原油及び原材料価格高騰並びに円高に対する中小企業向けの救済策を講じてほしい。
	建設用金属製品製造業	改正建築基準法に伴う住宅着工件数の減少により売上げが低下。
一般機器	写真機製造業	例年3月期は多少の売上げ増加が見込めたが、今年は伸び悩んでいる。原材料の値上げも重なり業界全体の状況は厳しい。
	木工機械器具製造業	改正建築基準法に伴う住宅着工件数の減少が売上げの低迷をまねいている。
その他製造業	スポーツ用品製造業	市場活性化策として業界では体育の日を中心に、スキー、野球、テニス等の記念日を定め各種イベント等を開催することによりスポーツ人口の増大に努めているが、少子高齢化の中で現状は厳しい。
	ガス圧接業	改正建築基準法の影響で売上げが減少している。

平成20年
3月

業 界 の 声

非 製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸 売 業	玩具卸売業	TVゲームの強さが目立つ。昨年と比べカードゲームの復活やTVキャラクターの主力アイテムが好スタートする等、明るい話題が多い。
	理容品卸売業	今月シカゴで行われた「世界理美容技術選手権大会」において、日本の理容チームが優勝を果たした。理容業界の現状に好影響を与えることを期待したが、さほどの効果はなかった。理容師志願者が激減し後継者の確保が困難になる中で、我々の領域への美容業界の侵入が始まっている。
	建設資材卸売業	3月の実績前年比16%減。組合員の廃業が相次ぎ本年の脱退は10社。
小 売 業	二輪自動車小売業	平成19年中の交通死亡事故に占める二輪車の割合は17.9%、東京都においては31.2%と非常に高い。最近の二輪車の性能について行けない中高年のリターンライダーの存在が事故の増加の一因であると思われるため、業界として安全運転の啓蒙活動を実施する必要がある。
	ペット小売業	組合が執り行う鳥獣供養祭の参加者が減少している。特に若手の参加者少ないため今後の活動継続に不安を覚える。
	自転車小売業	年間を通じて一番の需要期であるが買い控えの傾向にある。メーカーの在庫が少なく商品の調達が困難。パーツ類等は前月に続き値上げがあった。
	包装材料小売業	景況は悪化している。期末であること考慮すると深刻さの度合いは強い。現在メーカー数社よりJIS認証取得の取り止めた旨の連絡が来ている。JISの認定が国から民間に移管され権威性が失われたとの理由で、今後はISO9001を活用するようである。
	木材小売業	建築基準法の改正の影響が漸く解消されてきたが、全般的に沈滞ムードが漂っている。
	豆腐小売業	廃業が10件あり、組合員総数はついに900名を割り込んだ。高齢化、原材料の高騰等、業界を取り巻く状況は相当に厳しい。
	古書籍小売業	景況は下降。町中から本屋が消えている。業界内で「生き残り」という言葉が頻繁に使われている。
	文房具小売業	OA用紙の再生品混入率問題の影響が若干ある。
	電気機械器具小売業	春商戦に取り組みも全体的に前年より苦戦。合展等のイベントにおいてはほぼ前年並みの成果。AV商品は数量的に伸びた。白物家電は苦戦。オール電化関連商品は好調。
	調味料小売業	酒類販売店の影響で零細酒販店の経営が成り立たなくなっている。公正な競争のため市場環境の改善が必要である
商 店 街	赤坂一ツ木	TBSの新社屋を中心とした赤坂の再開発事業により地域の来訪者が増大しており、その波及効果が現れている。新たな集客スポットに対応した街づくりを検討する必要がある。
	銀座通り	中国人観光客の増加が顕著。観光バスの違法駐車が問題。
サービスマ	洗濯業	一世帯あたりのクリーニング代支出額は15年連続減少となった。ピーク時は年間2万円に達していたが、現在はその半分以下となり、今後はさらなる減少も懸念される。カジュアル衣料の取り込みが重要であることは明白であるが、顧客の家計が逼迫するなかで状況は厳しい。
	一般飲食店	組合員の廃業が増加。年度末35件の廃業数を数える。
	廃棄物処理業	4月1日より23区での一般廃棄物収集運搬手数料が値上げに向けて準備を開始。廃棄物収集運搬車両の駐停車禁止の除外について陳情を継続。
運 送 業	貨物自動車運送業	暫定税率の失効による軽油価格の下落は歓迎できる。
	港湾運送業	外国貿易コンテナ関係では中国からの輸入貨物が増加し、蔵置場所不足から欧州。北米貨物が減少した。品目では輸入青果物が減少。取扱い数量（利益）は横這い。荷動きは低下しており先行きの景況は不安。